2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月12日

上場会社名　　株式会社リグア　　上場取引所　東
コード番号　　7090　　ＵＲＬ　https://ligua.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）川瀬　紀彦
問合せ先責任者　（役職名）取締役　　（氏名）半田　晴彦　　ＴＥＬ　06（7777）0159
半期報告書提出予定日　　2026年11月12日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	1,302	0.8	79	－	59	－	19	－
2026年３月期中間期	1,291	△14.7	△35	－	△58	－	△51	－

（注）包括利益　2027年３月期中間期　19百万円（－%）　2026年３月期中間期　△51百万円（－%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	12.02	12.01
2026年３月期中間期	△34.37	－

（注）2026年３月期中間期の潜在株式調整後１株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、１株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	2,600	285	10.9
2026年３月期	2,493	176	7.1

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　283百万円　2026年３月期　176百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	0.00	0.00
2027年３月期	－	0.00			
2027年３月期（予想）			－	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,502	3.4	85	－	51	－	2	－	1.50

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
2027年３月期の連結業績予想については、2026年５月14日に公表した業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2026年11月12日）公表いたしました「2027年３月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	1,711,800株	2026年３月期	1,611,800株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	19,239株	2026年３月期	21,051株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	1,600,637株	2026年３月期中間期	1,488,899株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（１株当たり当期純利益の算定について）

2027年３月期の１株当たり当期純利益は、2026年９月14日付の第三者割当増資による普通株式50,000株及び第６回新株予約権の行使による普通株式50,000株の発行による、計100,000株の増加を反映した予想期中平均株式数を基礎として算定しております。

（決算補足説明資料及び決算説明内容の入手方法）

決算補足説明資料は、ＴＤｎｅｔで同日開示した後に当社ウェブサイトに掲載いたします。また、代表取締役社長による決算説明の動画を当社ウェブサイトにて配信する予定です。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（重要な後発事象） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間（2026年４月１日から2026年９月30日まで）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善に支えられ、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、中東情勢の緊迫化を背景としたエネルギー価格の高騰により物価上昇圧力が高まり、消費者マインドは弱い動きとなりました。期中に停戦に向けた動きがみられたことで過度な警戒感は後退したものの、コスト上昇分の価格転嫁は道半ばの状況にあります。加えて、日本銀行による政策金利の引上げや海外経済の下振れリスクもあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは「DESIGNING WELLNESS LIFE」というパーパスのもと、「人生から不安をなくし、生きるをサポートする。」企業グループとして、人生における２つの不安「からだ」の不安をなくすウェルネス事業と「おかね」の不安をなくすファイナンシャル事業を展開しており、誰もが心から豊かで前向きになる“WellnessLife”が溢れる社会の実現を目指しております。

「からだ」を担うウェルネス事業では、当社のヘルスケアブランド「Dr.Supporter」「My.Supporter」「SLEEPINSTANT」をはじめとしたIFMC.製品を使用した新メニュー（血流改善プログラム等）の導入に積極的に取り組んでまいりました。

「おかね」を担うファイナンシャル事業では、保険代理店業務及び財務コンサルティング等の経営支援を軸にサービスの提供を行ってまいりました。

その結果、当中間連結会計期間の経営成績は売上高1,302,274千円（前年同中間期比0.8％増）、販売費及び一般管理費等のコスト構造改革が着実に進展し、特にファイナンシャル事業ではグループ内再編に伴う販売費及び一般管理費の削減により営業黒字に転換した結果、営業利益79,221千円（前年同中間期は35,517千円の営業損失）、経常利益59,846千円（前年同中間期は58,416千円の経常損失）、特別利益として契約金収入10,000千円及び事業譲渡益5,660千円、特別損失として支払解決金32,887千円を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する中間純利益19,247千円（前年同中間期は51,166千円の親会社株主に帰属する中間純損失）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

＜ウェルネス事業＞

ソフトウェアは、接骨院向けシステムの販売や保守を行いました。システム販売が堅調に推移した結果、売上高は124,165千円（前年同中間期比9.0％増）となりました。

機材・消耗品は、接骨院での自費施術メニューの拡大をするための機材及び機材に付属する消耗品を販売しております。第１四半期は各機材の販売に注力したものの、第２四半期においては健康サポートの導入提案に注力したことから機材の販売が減少し、その結果、売上高は163,778千円（前年同中間期比12.2％減）となりました。

コンサルティングは、接骨院の幹部又は幹部候補者向けの研修及び新規利用者の獲得を目的としたWebコンサルティングを行っております。前年同中間期に計上したM&A仲介手数料売上が減少した結果、売上高は187,653千円（前年同中間期比17.2％減）となりました。

請求代行は、接骨院等における事務負担の軽減を目的とした療養費請求代行サービスを展開しております。療養費早期支払サービスの貸付残高及び会員数が増加したことにより、売上高は217,487千円（前年同中間期比11.4％増）となりました。

健康サポートでは、IFMC.製品である当社のヘルスケアブランド「Dr.Supporter」「My.Supporter」「SLEEPINSTANT」の販売に加え、導入院に対するサポートの強化にも取り組んでまいりました。その結果、IFMC.導入院数が増加したほか大型案件の成約に繋がり、売上高は297,583千円（前年同中間期比30.0％増）となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は990,668千円（前年同中間期比4.2％増）、販売費及び一般管理費の削減に積極的に取り組んだ結果等により、営業利益は71,631千円（前年同中間期比118.8％増）となりました。

＜ファイナンシャル事業＞

保険代理店は、ウェルネス事業を展開する当社グループ及び提携先からの紹介等により生命保険及び損害保険の募集活動を行いました。その結果、売上高は281,864千円（前年同中間期比12.7％増）となりました。

経営支援・手数料は、財務コンサルティングを行いました。前年同中間期に計上した紹介手数料売上が減少した結果、売上高は29,742千円（前年同中間期比6.9％減）となりました。

なお、金融商品仲介業（IFA）につきましては、2025年８月に実施したグループ内再編及び金融商品仲介業（IFA）等を営む子会社の全株式譲渡により、当中間連結会計期間において売上高（前年同中間期は58,051千円）は発生しておりません。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は311,606千円（前年同中間期比8.4％減）、グループ内再編に伴う販売費及び一般管理費の削減により、営業利益は7,589千円（前年同中間期は68,259千円の営業損失）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

［資産］

当中間連結会計期間末における資産合計は2,600,472千円となり、前連結会計年度末と比べ107,302千円の増加となりました。

流動資産は2,364,892千円となり、前連結会計年度末と比べ121,611千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が42,406千円、商品が73,217千円、リース債権及びリース投資資産が22,067千円減少したものの、売掛金が133,336千円、営業貸付金が73,438千円、流動資産のその他に含まれている前渡金が62,060千円増加したことによるものであります。

固定資産は235,579千円となり、前連結会計年度末と比べ14,309千円の減少となりました。これは主に減価償却費及びのれん償却額の計上により、有形固定資産が5,439千円、ソフトウエアが3,302千円、のれんが8,508千円減少したことによるものであります。

［負債］

当中間連結会計期間末における負債合計は2,315,394千円となり、前連結会計年度末と比べ899千円の減少となりました。

流動負債は1,939,879千円となり、前連結会計年度末と比べ147,435千円の増加となりました。これは主に、１年内返済予定の長期借入金が27,476千円減少したものの、買掛金が21,308千円、短期借入金が42,411千円、未払金が15,701千円、未払消費税等が18,236千円、預り金が76,456千円増加したことによるものであります。

固定負債は375,514千円となり、前連結会計年度末と比べ148,335千円の減少となりました。これは主に、長期借入金が148,106千円減少したことによるものであります。

［純資産］

当中間連結会計期間末における純資産は285,078千円となり、前連結会計年度末と比べ108,202千円の増加となりました。これは主に、第三者割当による新株式の発行及び第６回新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ43,367千円増加したこと、親会社株主に帰属する中間純利益19,247千円を計上したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は1,108,994千円となり、前連結会計年度末と比べ44,223千円の減少となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

［営業活動によるキャッシュ・フロー］

営業活動の結果、得られた資金は7,396千円（前年同中間期は145,567千円の収入）となりました。これは主に、売上債権の増加額133,336千円、営業貸付金の増加額73,438千円、法人税等の支払額15,815千円があった一方で、税金等調整前中間純利益42,754千円の計上、リース債権及びリース投資資産の減少額22,067千円、棚卸資産の減少額81,170千円、預り金の増加額76,456千円があったことによるものであります。

［投資活動によるキャッシュ・フロー］

投資活動の結果、使用した資金は1,111千円（前年同中間期は36,645千円の支出）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出1,800千円、有形固定資産の取得による支出1,433千円、無形固定資産の取得による支出2,678千円があった一方で、事業譲渡による収入5,660千円があったことによるものであります。

［財務活動によるキャッシュ・フロー］

財務活動の結果、使用した資金は50,508千円（前年同中間期は279,808千円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の純増加額42,411千円、株式の発行による収入42,318千円、新株予約権の行使による株式の発行による収入39,488千円があった一方で、長期借入金の返済による支出175,582千円があったことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、足元の業績動向を踏まえ修正しております。

詳細につきましては、本日公表いたしました「2027年３月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想につきましては、現時点において当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,187,132	1,144,726
売掛金	211,097	344,434
営業貸付金	337,609	411,047
商品	178,183	104,966
原材料及び貯蔵品	25,309	17,356
リース債権及びリース投資資産	234,934	212,866
その他	74,485	135,089
貸倒引当金	△5,471	△5,594
流動資産合計	2,243,280	2,364,892
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	108,156	108,457
減価償却累計額	△43,219	△46,717
建物附属設備（純額）	64,937	61,739
車両運搬具	14,014	12,408
減価償却累計額	△10,577	△9,831
車両運搬具（純額）	3,436	2,577
工具、器具及び備品	124,033	127,650
減価償却累計額	△97,638	△102,637
工具、器具及び備品（純額）	26,394	25,012
有形固定資産合計	94,768	89,329
無形固定資産		
ソフトウエア	25,560	22,258
のれん	89,617	81,109
その他	765	1,202
無形固定資産合計	115,943	104,570
投資その他の資産		
繰延税金資産	8,504	10,254
その他	33,010	33,754
貸倒引当金	△2,338	△2,328
投資その他の資産合計	39,177	41,680
固定資産合計	249,889	235,579
資産合計	2,493,170	2,600,472

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,438	25,746
短期借入金	775,226	817,637
１年内返済予定の長期借入金	351,200	323,724
未払金	100,959	116,661
未払費用	61,770	63,016
未払法人税等	22,962	31,682
未払消費税等	24,925	43,162
契約負債	23,756	14,678
預り金	399,826	476,283
賞与引当金	20,969	21,030
その他	6,407	6,256
流動負債合計	1,792,444	1,939,879
固定負債		
長期借入金	493,560	345,454
資産除去債務	29,905	30,060
繰延税金負債	384	－
固定負債合計	523,849	375,514
負債合計	2,316,294	2,315,394
純資産の部		
株主資本		
資本金	596,965	640,332
資本剰余金	524,074	567,470
利益剰余金	△928,977	△909,730
自己株式	△15,596	△14,161
株主資本合計	176,464	283,911
新株予約権	411	1,167
純資産合計	176,875	285,078
負債純資産合計	2,493,170	2,600,472

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	1,291,341	1,302,274
売上原価	503,258	562,223
売上総利益	788,082	740,051
販売費及び一般管理費	823,600	660,830
営業利益又は営業損失（△）	△35,517	79,221
営業外収益		
受取利息及び配当金	907	958
受取手数料	1,150	256
その他	655	186
営業外収益合計	2,713	1,401
営業外費用		
支払利息	15,413	15,781
株式報酬費用消滅損	9,964	－
株式交付費	－	4,861
その他	234	134
営業外費用合計	25,611	20,776
経常利益又は経常損失（△）	△58,416	59,846
特別利益		
固定資産売却益	－	136
事業譲渡益	－	5,660
子会社株式売却益	59,460	－
契約金収入	－	10,000
特別利益合計	59,460	15,796
特別損失		
事務所移転費用	3,263	－
支払解決金	－	32,887
特別損失合計	3,263	32,887
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	△2,219	42,754
法人税、住民税及び事業税	23,843	25,641
法人税等調整額	25,104	△2,133
法人税等合計	48,947	23,507
中間純利益又は中間純損失（△）	△51,166	19,247
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失（△）	△51,166	19,247

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益又は中間純損失（△）	△51,166	19,247
中間包括利益	△51,166	19,247
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△51,166	19,247
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	△2,219	42,754
減価償却費	20,628	14,900
のれん償却額	8,508	8,508
事業譲渡損益（△は益）	－	△5,660
子会社株式売却損益（△は益）	△59,460	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	841	120
賞与引当金の増減額（△は減少）	2,109	60
契約金収入	－	△10,000
支払解決金	－	32,887
株式交付費	－	4,861
受取利息及び受取配当金	△907	△958
支払利息	15,413	15,781
売上債権の増減額（△は増加）	△34,367	△133,336
リース債権及びリース投資資産の増減額（△は増加）	△966	22,067
営業貸付金の増減額（△は増加）	17,965	△73,438
棚卸資産の増減額（△は増加）	72,144	81,170
仕入債務の増減額（△は減少）	1,479	21,308
前払費用の増減額（△は増加）	△3,649	△11,598
未払金の増減額（△は減少）	54,202	13,150
未払費用の増減額（△は減少）	△26,451	380
契約負債の増減額（△は減少）	5,410	△9,078
預り金の増減額（△は減少）	72,030	76,456
未払消費税等の増減額（△は減少）	△14,606	17,511
その他	44,003	△45,244
小計	172,108	62,604
利息及び配当金の受取額	905	941
利息の支払額	△14,749	△17,447
契約金の受取額	－	10,000
解決金の支払額	－	△32,887
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△12,697	△15,815
営業活動によるキャッシュ・フロー	145,567	7,396
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,800	△1,800
有形固定資産の取得による支出	△3,341	△1,433
無形固定資産の取得による支出	－	△2,678
事業譲渡による収入	－	5,660
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△34,530	－
その他	3,027	△859
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36,645	△1,111
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△49,946	42,411
長期借入れによる収入	50,000	－
長期借入金の返済による支出	△279,862	△175,582
株式の発行による収入	－	42,318
新株予約権の行使による株式の発行による収入	－	39,488
新株予約権の発行による収入	－	891
自己株式の取得による支出	－	△36
財務活動によるキャッシュ・フロー	△279,808	△50,508
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△170,886	△44,223
現金及び現金同等物の期首残高	1,321,767	1,153,217
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,150,880	1,108,994

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			中間連結損益計算書計上額（注）２
	ウェルネス事業	ファイナンシャル事業	計	
売上高				
ソフトウェア	101,951	－	101,951	101,951
機材・消耗品	133,849	－	133,849	133,849
コンサルティング	226,731	－	226,731	226,731
請求代行	195,149	－	195,149	195,149
健康サポート	228,919	－	228,919	228,919
保険代理店	－	250,189	250,189	250,189
金融商品仲介業（IFA）	－	58,051	58,051	58,051
経営支援・手数料	－	31,946	31,946	31,946
顧客との契約から生じる収益	886,601	340,187	1,226,789	1,226,789
その他の収益（注）１	64,551	－	64,551	64,551
外部顧客への売上高	951,153	340,187	1,291,341	1,291,341
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－
計	951,153	340,187	1,291,341	1,291,341
セグメント利益又はセグメント損失（△）	32,742	△68,259	△35,517	△35,517

（注）１．その他の収益は、ソフトウェア及び機材・消耗品のリース取引によるものです。

２．セグメント利益又はセグメント損失（△）は、中間連結損益計算書の営業損失と一致しております。

３．2025年８月１日付にて、株式会社FPデザインの保険代理店事業及び経営支援事業を完全子会社のFPデザイン株式会社に承継する連結子会社間の吸収分割によるグループ内再編を実施したうえで、金融商品仲介業（IFA）等を展開する株式会社FPデザインの株式の全てを譲渡いたしました。そのため、金融商品仲介業（IFA）は2025年４月から７月までの営業展開となっております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			中間連結損益計算書計上額（注）２
	ウェルネス事業	ファイナンシャル事業	計	
売上高				
ソフトウェア	120,476	－	120,476	120,476
機材・消耗品	125,943	－	125,943	125,943
コンサルティング	187,653	－	187,653	187,653
請求代行	217,487	－	217,487	217,487
健康サポート	297,583	－	297,583	297,583
保険代理店	－	281,864	281,864	281,864
経営支援・手数料	－	29,742	29,742	29,742
顧客との契約から生じる収益	949,143	311,606	1,260,750	1,260,750
その他の収益（注）１	41,524	－	41,524	41,524
外部顧客への売上高	990,668	311,606	1,302,274	1,302,274
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－
計	990,668	311,606	1,302,274	1,302,274
セグメント利益	71,631	7,589	79,221	79,221

（注）１．その他の収益は、ソフトウェア及び機材・消耗品のリース取引によるものです。

２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

３．前中間連結会計期間においてファイナンシャル事業の収益区分として記載していた金融商品仲介業（IFA）については、2025年８月１日付で当該事業を営んでいた株式会社FPデザインの株式の全てを譲渡したため、当中間連結会計期間においては該当がなく、記載しておりません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年９月14日付で、株式会社ストリートスマートを割当先とする第三者割当による新株式の発行について払込みを受けました。また、同日付で第６回新株予約権の一部行使による払込みを受けました。

この結果、当中間連結会計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ43,367千円増加し、当中間連結会計期間末において資本金が640,332千円、資本剰余金が567,470千円となっております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。